

アップルの 아이폰によって触発されたスマートフォン市場の爆発力は、携帯電話市場の地殻変動に止まらず、データ通信を主とする無線インターネット市場の拡大という通信市場の変化をもたらしており、PC市場でのようにOS競争、検索競争、コンテンツ競争など、産業全体に新しい経済環境を提示しており、そのなかで予測不能な新しい生態系を創出しています。

Gartnerの2009年11月に発表された資料によると、2008年以降の一般フォン(フィーチャーフォン)市場はすでに飽和状態で、少しずつ減少する推移を見せるものと予想される反面、スマートフォンの販売は持続的な増加の趨勢を見せるものと展望されます。

2009年のスマートフォンの販売台数は、2008年の1億3千9百万台に比べて29.1%成長した1億8千万台規模と推定され、2013年には6億4千6百万台の規模に成長するものと見通されます。2009年の全体の携帯電話市場におけるスマートフォンの比重は15.3%と推定され、2013年には42.8%まで比重が拡大し、携帯電話市場の主流をなすものと展望されます。

最近、スマートフォン市場はグローバル携帯電話市場占有率1位であるノキアをはじめとして、その後が続いているサムスン電子とLG電子も安心できないほど、より競争が熾烈になってきています。最大の 이슈になっているアップルの 아이폰をはじめとして、2010年に最も大きく成長するものと予想されているグーグルの アンドロイドフォン、 아이폰の地位を目指して再起の闘魂を見せているpalmのPre、HTC、さらにコンピューターメーカーのデルも中国市場を基盤にスマートフォン市場に進出し、熾烈な競争を繰り広げている状況です。

た、スマートフォン市場が拡大するなかでモバイル運営体制(OS)の主導権争いも激しくなっており、端末機製造会社やソフトウェア会社など業種の分野を問わずモバイルOS競争に進出しています。さらに、スマートフォンで重要な要素であるコンテンツを流通させることができるアプリケーションストア市場も拡大しています。

ここに、「グローバルスマートフォン開発戦略と市場の展望」を通じて、グローバルスマートフォン市場の動向を分析し、グローバル市場に出資(予定含む)された製品のトレンドを整理・分析しました。また、スマートフォンと密接な関連がある運営体系(OS)およびアプリケーションストア市場も徹底的に調査・分析しました。

当社は本報告書が、グローバルスマートフォンおよび関連市場に進出した国内外の企業だけでなく、関心のある関連機関・企業の実務担当者に事業戦略の樹立と市場分析のための基礎資料として役立てられることを願います。

2011年4月

デイコ産業研究所産業調査室

PM キム・スンフン

idaco@naver.com

